

とう然の碑

この大きな石碑は、書道家、画家および詩人として名人であり、実質的には近隣にある圓流院の住職となったとう然の記念碑です。とう然は 1796 年に皆生に生まれ、1806 年に僧侶として圓流院に入りました。とう然はその地域についての重要な歴史的情報源である大山雑記を 1846 年に編纂し、1861 年に亡くなりました。